

市第52号議案 令和2年度横浜市一般会計補正予算（第3号）（医療局関係部分）

1 くらし・経済対策補正

（単位：千円）

事業名	9月補正前 現計予算	補正額					9月補正後 現計予算
		県費	その他	市債	一般財源		
7款8項1目 医療政策費							
Y-CERT強化事業費	6,369	6,333	6,333	0	0	0	12,702
医療従事者支援事業費	0	225,000	0	80,000	0	145,000	225,000
7款6項1目 健康安全費							
重症・中等症患者等 受入体制整備事業費	105,000	105,000	105,000	0	0	0	210,000
重症・中等症患者等 入院受入奨励事業費	848,250	791,700	0	0	0	791,700	1,639,950
計	959,619	1,128,033	111,333	80,000	0	936,700	2,087,652

(1) Y-CERT強化事業費

4月に設置した、横浜市新型コロナウイルス対策感染症・医療調整本部（Y-CERT）について、年間を通じて継続運用するため、横浜市災害医療アドバイザーの受入れに係る人件費を追加補正します。

<補正予算積算額>

日額17,400円×182日×2人/日 = 6,333,600円

(2) 医療従事者支援事業費

医療の最前線で尽力する医療従事者に対する感謝の気持ちとして寄せられた寄附金を活用して、新型コロナウイルス感染症の入院患者を受け入れる医療機関に勤務する医療従事者を支援します。具体的には、各医療機関の実情に応じて福利厚生の上昇や勤務環境の改善に係る経費を助成します。

<対象>

- ① 重症・中等症患者を中心に受け入れる医療機関 15 病院
- ② ①以外の医療機関 15 病院

<補正予算積算額>

- ① 15 病院 × 上限 1,000 万円 = 150,000 千円
- ② 15 病院 × 上限 500 万円 = 75,000 千円

裏面あり

<活用例>

休憩室・宿舎の改修や備品購入、ユニフォームやナースシューズ等の更新、仮眠室の寝具更新、専門図書の購入・学会参加費・研修費など自己研鑽のための費用補助、医療従事者が宿泊するための費用補助 など

(3) 重症・中等症患者等受入体制整備事業費

第1波の経験を踏まえ、医療機関において必要となった医療機器・消耗品の購入や施設整備等の費用助成を拡充し、新型コロナウイルス感染症患者の受入体制を強化します。

<対象>

- ① 重症・中等症患者を中心に受け入れる医療機関 15 病院
- ② ①以外の医療機関 15 病院

<補正予算積算額>

- ① 15 病院 × 上限 500 万円 = 75,000 千円
- ② 15 病院 × 上限 200 万円 = 30,000 千円

(4) 重症・中等症患者等入院受入奨励事業費

今後、新型コロナウイルス感染症患者が増大した場合にも十分対応できるよう増額し、入院治療を必要とする陽性患者等の円滑な受入れを促進します。

<対象>

感染症陽性患者等の受け入れに関して、横浜市と協定を締結した医療機関

<補正予算積算額>

- ① 感染症陽性患者：1 人 1 日 30,000 円 × 1,400 人 × 16 日（平均在院日数） = 672,000 千円
- ② 感染症を疑う患者：1 人 28,500 円 × 4,200 人 = 119,700 千円

2 くらし・経済対策補正のうち財源更正

(単位：千円)

事業名	補正額	補正額			
		県費	その他	市債	一般財源
7 款 8 項 1 目 医療政策費					
Y-CERT強化事業費 (5月・6月補正分)	0	6,369	0	0	▲6,369

国が創設した新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を充当するため、5月及び6月の補正予算で編成したY-CERT強化事業費について財源更正を行い、県費を6,369千円増額し、一般財源を6,369千円減額します。